

学習内容報告書 フォーマット

学校名	階上町立道仏小学校
授業者	尾崎 紘之

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海と親しむ（俺たちの塩作り）

1-2. 学年

3 学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

1	オリエンテーション	－	・自分たちと塩との関わりについて振り返る。
2	「塩作り」について調べよう	－	・塩作りの手順について自分で調べてみる。
3	「塩作り」体験①～③	－	・講師の方を招いて、塩のつくりかたについて学ぶ。 ・作った塩を使って調理にチャレンジする。
4	「塩作り」のまとめ	－	・体験を振り返り学んだことや気付いたことを共有する。
5	活用①	－	・塩作りの過程で作られた「にがり」を使用して何ができるかを考える。（国語の学習との関連→豆腐作りにつなげる。） ・豆腐のつくりかたの手順について自分で調べてみる。
6	活用②	－	・調べた方法で豆腐を作ってみる。
7	活用③	－	・豆腐作りについて振り返る。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

・毎日の食生活で欠かすことのできない塩づくりの体験を通して生産過程の苦勞と喜びを味わわせるとともに、階上町の海の豊かさや美しさを肌で感じ、大切にしようとする心を育てる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

知識・技能：塩作り体験を通して、塩を作るための手順や方法について調べて実践したり、それらに関わる専門的な用語を理解したりすることができる。

思考力・判断力・表現力：塩作りの過程でできあがったにがりや、できあがった塩をどのように活用できるのかを考えたり、知っている知識を生かして説明したりすることができる。

1-7. 単元の展開（全7時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>「塩作り」オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> これからどのような活動をしていくのかという見通しをもたせるために、体験を含めて説明を行う。 塩が何に使われているか、知っていることを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「塩」と聞いて、思いつくものについて自由に発表させ、普段から塩と深く関わっていることに気付かせる。 昨年度に作った塩を見せて、どのように作っているのか予想させ、作り方に興味をもたせる。
2	<p>「塩作り」について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩はどのように作られているか、インターネットを活用して調べ、ワークシートにまとめる。 調べたことをもとに、作る手順について確認し、次時に行う体験について概要を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 塩の作り方の手順について調べさせる。特に海水を使って作る方法に限定する。 調べたことを共有し、実際にどんな活動をこれからしていくのかについて説明する。
3	<p>「塩作り」体験1回目</p> <ul style="list-style-type: none"> 海水をくむ体験を行う。 くんだ海水がこれからどうなっていくのか、確認する。 体験の振り返りをする。 	<p><外部連携></p>
4	<p>「塩作り」体験2回目</p> <ul style="list-style-type: none"> くんできた海水を煮詰める作業を行う。 今回煮詰めたかん水が、今後どのように変化していくのか、次にどのような作業を行うのかについて確認する。 体験の振り返りをする。 	<p><外部連携></p> <ul style="list-style-type: none"> 塩が煮詰まって、鍋の中で結晶化していく過程をしっかりと観察させる。
5	<p>「塩作り」体験3回目</p> <ul style="list-style-type: none"> 煮詰めたかん水を、火にかけて水分を飛ばして塩を完成させる。 完成した塩を使ってポップコーン作りにチャレンジする。 体験の振り返りをする。 	<p><外部連携></p> <ul style="list-style-type: none"> 塩の水分を飛ばす際に火加減を調節し、熱を加えすぎないようにさせる。
6 7	<p>「塩作り」のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩作りにおいて、学習した専門用語や発生した副産物について確認する。 (用語：せんごう、かん水 副産物：にがり) にがりを使ってなにができるのかについてインターネットで調べる。→豆腐作りにつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉や副産物を確認する中で、国語の学習でも登場した「にがり」に注目させる。 「にがり」を活用して豆腐が作れることを確認させて、豆腐の作り方について興味をもたせる。 実際に豆腐作りの体験につなげていく。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

私たちの生活と塩との関わりについて調べることを通して、塩との関わりが深いことに気付かせ、その作成方法について興味をもつことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 塩について知っていることを話し合う。 <ul style="list-style-type: none">・塩はしょっぱい。・料理に使われている。・海の水も塩が混ざっている。・運動して疲れたときに塩をなめろと言われた。・熱中症になりかけたときに、生理食塩水という飲み物を飲んだことがある。それにも塩と書かれていた。	<ul style="list-style-type: none">・各自の経験や本、その他で知り得た知識などについて自由に話をさせる。・自由な発言の中で、海の水や体の調子に関わる発言については特に取り上げ、普段から塩と深く関わっていることに気付かせる。
2 普段料理に使っている塩と、水に混ざっている塩の違いについて考える。 <ul style="list-style-type: none">・海の水は透明だけど、料理に使う塩は小さな粒になっている。・普段料理に使っている塩も、料理に混ざったら見えなくなる。・塩は何か混ざると見えなくなるのかな。	<ul style="list-style-type: none">・海の水や生理食塩水などが液体だということを確認し、普段料理に使っている塩と形が違うことを捉えさせる。
3 どのようにして塩を作っているのか考える。 <ul style="list-style-type: none">・何かの機械を使うと白い粒になる。・海の水を乾かせば、塩になると思う。・作り方は本やインターネットで調べれば分かるんじゃないかな。	<ul style="list-style-type: none">・実際に昨年度作った塩を見せ、どうしたら塩を作ることができるのかという疑問をもたせる。
4 次時の活動について確認する。	<ul style="list-style-type: none">・塩の作り方をインターネットで調べることを伝え、次時の活動に関心をもたせる。

3. 今回の活動の自己評価

- 海の近くに住む地域であるからこそ、海水から塩を作ることができることについて、自然の恩恵を感じさせるとともに、日頃から人間と塩との関わりが深いことを理解させた上で、体験学習に取り組みさせることで、塩が人間の生活に不可欠な物だということを理解させてから体験学習に取り組みさせたかった。単元の導入部分で、それらに触れながら学習を進めたことで、塩作りに意欲的に取り組む児童の姿が見られた。
- 体験学習について、用意されているから取り組むのではなく、まずは自分たちで塩作りの概要について調べたことで、実際に体験する際にある程度の見通しをもちながら進めることができた。
- △体験学習の中で鍋の様子を観察する際、塩の様子の変化について交流させたり、気付いたことをメモしたりさせることで、学習後の振り返りがスムーズに進められたり、自分たちが活動した足跡を残すことができたのではないかと感じた。
- 塩を作って終わりにするのではなく、他教科と関連させながら、「にがり」を豆腐作りに活用したり、ポップコーン等にできあがった塩を使ったりすることで、様々な学習と体験をつなげることができた。

4. 今後の課題

- ・体験時に、作業と並行して行うのは難しいことだが、塩を煮詰める際に、観察して気付いたことをワークシートにまとめたり、それぞれの班でデジタルカメラ等を使用して様子を記録したりすることができれば、長時間の作業にも児童がついていけるのではないかと思う。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。